

昭和三十年一月二十二日認可
二九福通炭業認第四一號

杉谷二反坑鑛業施業案

共同石炭
A
13



杉谷二尺枕

追加変更紙業地業案

英同石炭紙業株式会社
日吉紙業所



追加変更款業始業認可申請書

昭和廿九年十一月二十日

福岡県探掘権登録部式七八号 日官農飲
福岡県租賦権登録部 第〇号

租賦権者 共同石炭飯塚株産会社
租賦権者

右代表取締役 人 交 太

飯塚代理人 宇佐見 敏



福岡道前産業局長
佐 久 洋 殿

福岡県租賦権登録部第〇号賦区に於て杉谷二尺坑を開採したので
認可下さる様款業法第六十三条第二項によりお願ひします。



変 更 理 由 書

昭和廿九年十一月三十日

福岡県探掘権登録第貳七七八号
福岡県租賦権登録第 第〇号 日吉炭鉱

欲乗地権者 共同石炭欲乗株式会社
租賦権者 共同石炭欲乗株式会社

右代表取締役 入 交 太
欲乗代理人 宇佐見 敏

昭和二十八年一月十三日付二七福通炭業認第二一八号を以て認可に
なりました杉谷坑は今回杉谷二尺坑を圍繞するに當り探掘炭層及び
探掘区域が同一であるため杉谷二尺坑に併合し杉谷坑本卸及び全坑
排気卸はそれぞれ杉谷卸及び杉谷運師と変更します。

租債権に関する施業案（追加変更）

東京都中央区銀座七丁目五番地ノ一

債権者

債権者

右代表取締役

債権代理人

入交 大

宇佐見 敬

一、債区の所在地および面積

福岡県高穂郡稲築町、大隈町、地内

面積 五六三二アール（一七〇〇〇〇坪）

二、採掘権の登録番号

福岡県租債権登録第〇号

三、鉱山および石炭坑の名称

日吉炭坑 杉谷二尺坑

四、目的とする鉱物の名称

石炭

五、採炭または採炭に関する事項

六、地質の状態



別紙地質図示のように第三紀灰炭層で頁岩、砂岩、礫岩、石炭で成層し一部に火成岩の侵入を受ける区域がある。

炭層は竹谷、本層、大焼の炭層群が賦存し当区域の中央を東西に延びる二五米所層あり。地帯区域は所層深部なり。

② 主要炭層の位置、走向、傾斜および厚さ

追加地帯区域の主要炭層は杉谷下二尺層、杉谷五尺層で当該炭層は日鉄種炭が大半十四年頃採掘してゐるのでその傾斜を採掘する計圖なり。

走向は北五五度、傾斜は二〇度で炭層の厚さおよび上下盤の狀態は左記の通り。

炭層名	山	丈	丈	上下盤の狀況	
				上盤	下盤
杉谷下二尺層	〇九九米	〇六二米	頁岩	礫砂質頁岩	頁岩
杉谷五尺層	一三九米	一七八米	礫砂質頁岩	頁岩	頁岩

③ 埋蔵炭量および可採炭量

地帯区域による杉谷区域の埋蔵炭量、可採炭量

埋蔵炭層	埋蔵炭層の厚さ	埋蔵炭層の面積	埋蔵炭層の埋蔵炭量	埋蔵炭層の可採炭量	埋蔵炭層の埋蔵炭量	埋蔵炭層の可採炭量	埋蔵炭層の埋蔵炭量	埋蔵炭層の可採炭量
下二尺層	A 0.63	0.3	0.279	0.139	0.279	0.139	0.279	0.139
	B 0.63	0.3	0.279	0.139	0.279	0.139	0.279	0.139
五尺層	A 1.18	0.3	1.336	0.668	1.336	0.668	1.336	0.668
	B 1.18	0.3	1.336	0.668	1.336	0.668	1.336	0.668
合計			2.615	1.336	2.615	1.336	2.615	1.336

元杉谷坑区域は認可地帯未通りであるため炭量は省略する。

④ 採炭の方法

追加地帯区域の杉谷五尺層および杉谷下二尺層は日鉄種炭が大半十四年頃採掘したるも相當量の残炭層があるためこれを採掘する計圖で本卸および特免卸も当時の同坑道を取明け採掘する。

坑道標第三号から二九七度二五六一九米の位置に本卸坑口を設定し本卸方向は五〇度〇分傾斜二〇度で杉谷五尺層同坑道を加背三一米×三一米で取明け採掘し水平距離二四八米で中止する。

掛免御流口は嵐区標第三号から二九六度一五分六〇〇米の位置に設定し本御と二〇米の圓周を保ち併行方位で加算で八米×二、八米の坑道を杉谷五尺層田坑道を取明け掘進し水平距離二四〇米で中止する。

片巻坑道は本御流口から水平距離二〇米で右一片、三〇米で左一片を掘進し以下二六米毎に片巻坑道を杉谷五尺層田掘進を相連する。

右部は現在操業中の杉谷御（旧杉谷本御）を流口より二〇米迄掘進し旋回より、掘進する計画にして本御と杉谷御の片巻が連絡し杉谷二尺流本御の掘進が軌道に乗り次第杉谷御及同連御は停止する豫定なり。

掘進方法は片巻坑道中に杉谷五尺層、全二尺層の掘進性を改良し補脚の上は昇柱房式又は戻柱式に採炭を実施する。

掘炭は電気ドリル、チェーンコンベヤーを使用し切羽および掘進機は坑水による支柱、溜水槽、突水等を実施する。

別紙添付の坑内図に記載してある主要御間の保安戻柱及び岩盤透査物の保脚戻柱は、掘進終了時に採掘する。

よ一ヶ年間に於ける豫定掘炭高

一五〇〇〇觔

六 運搬に関する事項

現在設置してある海軍八尺流二〇〇馬力巻揚機と流口を結び平均傾斜七度の運炭線を掘削、機體で図示のように設定し、幹線は一五尺、片巻一〇尺軌条を敷設し軌間五〇釐で四六五立方米の木製炭車で運搬する。

片巻運搬は一〇〇馬力ホイスト巻を使用し切羽はチェーンコンベヤー又はスクリュー運搬とする。

坑内より掘進したる炭車は才田坑七五馬力巻揚機で戻炭ボケット機へ運搬し才田港炭車で運炭の上エンドレス運炭機で相鄰駅まで運搬貨車積みする。

七 掘炭に関する事項

戻炭ボケットは容量三〇觔で三坑、杉谷二尺坑の炭車をチフラーで戻炭ボケットへ入れベルトコンベヤーで現在使用中の才田港炭機五〇觔ホッパーへ送る。

以後は現在実施してある運炭方法で二〇馬力運搬機三〇馬パワー水洗機で精炭、沈中炭、洗粉、微粉の製品とする。

微粉回収は浮遊炭機を設置してゐる。

八 操業上の危害豫防に関する事項

× 通気排水照明および先液に関する事項

掛免流口に三〇馬力、八五〇立方米シロツコ型扇風機を設置取付式とし本御より入気

右部は片壁より切羽を経て扇風道より排気部へ連絡し左部は片壁より切羽を経て扇風道より水脚を風筒により横断し排気部へ連絡する。

右部の現在操業中の杉谷部（旧杉谷本脚）方面の通気については杉谷部操業中は脚より入気した左部片壁より切羽を経て扇風道より進脚へ排気するも本脚と杉谷部の片壁が連絡すれば杉谷部停止までは杉谷部を入気とし左部片壁より切羽を経て扇風道より杉谷二尺坑排気部へ排気する。

風道には必要に応じて門扉、風管、壁出の施設をなすと共に掘進探炭に当りては局部扇風機を使用する。

通気測定は常時行ひ通気の改善方法を講じ瓦斯自然発火等に因する異常事故を豫防する。

坑内水は現在操業中の杉谷坑に於ても殆んど出水なく降雨に際しても局部に流出してゐる現状より見るに旧探掘跡には溜水はないと思われ当分排水設備の必要はないが、掘進中溜水位に達したる時は電気タービンポンプを必要量設置する。

前降雨期については適當なる排水設備の増加を図るものなり。

照明は現在使用中の0.8型キャップランプを使用する。

掘炭は積安機、新削ダイナモを機油専火機で掘炭す。

火発願の懸念、取扱、保管をらびに発炭は有資格者に之をなすしめ法規に定められた

る諸事項を遵守する。

2 作業の安全その他人に対する注意の豫防に關する事項

瓦斯測定は保安係に不多式瓦斯測定器、測研瓦斯干渉計により概定し通気状況、湿度、湿度等の検査を常時なすしむ。

坑道は坑木で押入し仲間には成木でつなぎ、天盤、側壁の崩落を防止し切羽は打柱、荷合棒を施し採掘跡は必要に応じて木積、運搬元頭とする。

本区域は前述の如く日鉄福炭に於て杉谷五尺層および杉谷二尺層の一部を採掘所であるが、地帯区域の右三片水準は現在操業中の日吉一坑と連絡してゐて日吉一坑の水位は連絡箇所より約六七米の下にあり、従つて現在操業中の杉谷坑本脚部に於ても溜水のないことを確認してゐるので古溜水に対するおそれはない。

坑内車脚坑道には脱車急走防止をなす、脱車懸掛坑道は車道と人道との間隔を適當にとり車道は常時補修し脱車その他事故を防止する。

坑内送電機は鐵線ケーブル、キャップタイケールを使用し保安係員をして監視させ漏電、感電事故を防止すると共に法規に定められたる器具を使用し事故豫防をなす発炭係は発炭に際し法規に定められたる事項を嚴格に守り発炭を同知程度させ退避を確保の上発炭を行ふ。

2 坑外または坑内地設の保全に關する事項

坑外には飲薬法第六十四条の該動物行はない。

坑外における施設は現在の施設を利用し巻揚機、事務所、安全燈受渡所等には消火器、防火砂、水櫃等を備付け保安係員が点検する。

坑内ポンプ室、変電所、火薬類取扱所、巻揚機の設置せる箇所には消火器、防火砂等を備付け法規に定められたる事項を厳く遵守し保安係が点検する。

坑外物件として当坑所有の建造物等があるが之に對しては被折角六〇度の区域内を保護支柱とし採炭方法にも記載してある通り採掘終了時に採掘する。

又辻炭坑坑外重要巻揚場に對しては被折角六〇度線の区域内は杉谷下一尺層、杉谷五尺層典その殆んどが日飲礦業時代に於て採掘の爲に製造酒のみを豫定なるも若し災虞がある場合は平〇も採掘を実施しその採掘距離平〇も以上の巻揚元利をなす。



採炭方法
に於ては
規定する

④ 坑管の防止のための施設に関する事項

(イ) 貯炭場および捲石の堆積場の位置および巻揚

貯炭場は才田坑の現在貯炭設備を利用し捲石は別紙坑外図箇示の現在の海軍八尺坑巻揚場を利用出来るので巻揚機で巻上げ炭車で運搬し傾打に捨炭する。

坑内水は坑外に設置してあるコンクリート造りの貯水槽に入れそれより才田巻揚機

の水沈水として使用の爲なる。

水洗水の放流についてT形式浮遊巻揚機により微粉を回収しすと共に沈澱槽を作り浄水の上放水する。

水原に對する被害は廣くは民衆、公共施設がなく当坑にかいて給水設備をなしてゐるので問題は殆どないので施設は別に必要をなさざるものとす。

⑤ 其他

採掘区域の地質は原野、山林で地上権は当坑所有地、借用地で調整済なので通常に關する紛議は殆ど起らなす。

九 重複炭区または隣接炭区の採炭の調整に関する事項

施業案による採掘区域は日飲礦業区内に重複施設した区域であるので別紙承諾書の通り同飲の承諾を得たり。又福築炭行炭層大層群とは層間三五〇米にかよふため採業上の調整事項はない。

その他採業上の調整事項なし。

取 寄 書

福岡県嘉穂郡嘉穂町、大隈町地内、福岡県採掘権登録第○号試区
内の一部に貴社名義にて採掘権設定を許可したる福岡県採掘権登
録第○号試区区域内（別紙図示）に於て別紙地契書による杉
林_下二尺層、杉谷五尺層の採掘を承諾致します。

大正
九年

昭和廿九年十二月十五日

福岡県嘉穂郡嘉穂町牧園六六六番地

日鉄鉱業株式会社二瀬成鉱

石炭業代理人 吉田 正



共同石炭業株式会社
社長 安 太 藏 殿





福岡縣嘉穂郡精製町、大隈町地内、福岡縣採掘権並録第壹号鉱区
内の一部に貸社名義にて租賦権設定を許可したる福岡縣採掘
録第壹〇号福岡區区域内（別紙圖示）に於て別紙地業案による杉
竹二尺層、杉竹五尺層の採掘を承諾致します。

昭和廿九年十二月十五日

福岡縣嘉穂郡役所校岡六六番地

日鉄礦業株式会社二瀬成礦

右礦業代理人 吉田正



共同石炭礦業株式会社
社長 入 文 太 藏 殿



坑外圖(弦正圖)
坑內圖(採柱計圖)
炭量計算圖
石炭坑範圍圖
地質圖
炭層柱狀圖

Handwritten text on the right page, including vertical columns of characters and faint diagrams. The text is partially obscured by a translucent paper covering. Faint blue ink markings are visible on the page.



炭量計算圖



炭量計算圖 縮尺三千分之二

炭量表

炭種	炭量	炭質	炭質	炭質	炭質	炭質	炭質	炭質	炭質	炭質
第一層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第二層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第三層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第四層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第五層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第六層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第七層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第八層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第九層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
第十層	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
合計	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0



炭量圖

第一層炭量圖

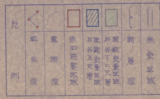


第二層炭量圖



炭種	炭量	炭質	炭質	炭質
A	1.8	1.8	1.8	1.8
B	1.8	1.8	1.8	1.8
合計	3.6	3.6	3.6	3.6

炭種	炭量	炭質	炭質	炭質	炭質
1	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
2	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
3	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
5	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
6	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
10	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
11	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
12	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
13	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
14	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
15	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
16	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
17	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
18	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
19	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
20	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
21	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
22	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
23	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
24	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
25	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
26	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
27	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
28	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
29	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
30	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
31	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
32	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
33	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
34	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
35	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
36	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
37	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
38	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
39	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
40	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
41	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
42	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
43	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
44	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
45	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
46	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
47	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
48	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
49	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
50	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
51	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
52	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
53	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
54	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
55	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
56	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
57	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
58	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
59	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
60	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
61	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
62	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
63	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
64	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
65	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
66	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
67	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
68	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
69	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
70	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
71	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
72	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
73	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
74	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
75	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
76	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
77	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
78	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
79	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
80	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
81	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
82	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
83	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
84	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
85	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
86	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
87	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
88	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
89	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
90	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
91	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
92	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
93	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
94	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
95	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
96	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
97	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
98	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
99	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
100	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8

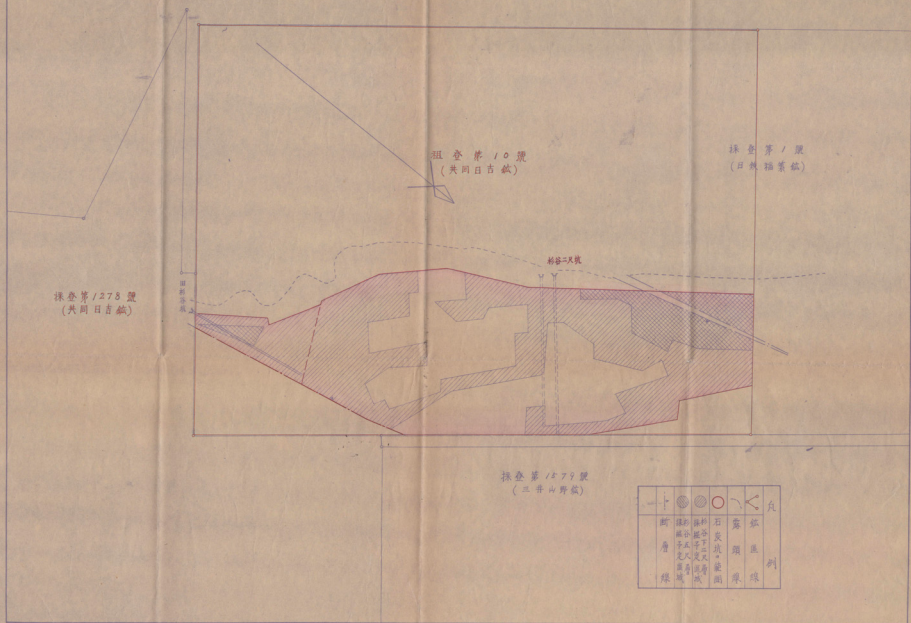


石炭坑の範圍圖



石炭坑の範圍圖

縮尺 $\frac{1}{3000}$



組合第10號
(共同白吉坑)

採炭第1號
(日新採炭坑)

採炭第1278號
(共同白吉坑)

標高200

採炭第1279號
(三背山野坑)

+	●	○	∟	尺
標高	採炭	石炭	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭
標高	標高	炭層	採炭	採炭



地質圖



地質圖

縮尺 $\frac{1}{5000}$





福岡縣嘉穂郡稻築町才田

共同石炭
業株式會社

日吉鑛業所

電話一稻築四一〇番

